

夏季に適した花壇苗の選定技術マニュアル

令和2年3月

さいたまの花普及促進協議会

1 はじめに

埼玉県は花壇用苗ものの一産地である。

オリンピック等により、これまで少なかった夏の花き需要の拡大が期待される。

そのため、花壇苗を植栽したプランターを夏季の屋外に設置し「お台場おもてなしセレクション」の評価項目を参考に評価することで、より優れた品種を選定し、効率的な次期生産の拡大につなげる。

2 内容

○実証の内容

複数の品種をコンテナに植え、夏季の屋外に設置し、生育や耐病害虫性など、夏季における花壇適性を把握する。

○期待される効果

夏季に適した品種を知ることにより、効率的に高品質な花壇苗を生産できる。

○実証の詳細

設置場所：ユニクス鴻巣（埼玉県鴻巣市北新宿225-1）

設置期間：令和元年8月20日～10月28日

使用コンテナ：リッチェル社製 タウンプランターWS 100型（内寸W91×D36×H28cm）

使用花材：日々草（アイシーピンク、ポルカドット、ローズハロ、リアルレッド、オレンジ、ラベンダー）、ペンタス（ローズ、ピンク、バイオレット、ホワイト、レッドベルベット、ラベンダー）

※ 1コンテナにつき1品種24株植え、ペンタス（ローズ、ピンク、バイオレット）は2コンテナ設置し、同品種で結果に差がないかを確認した。他は1品種1コンテナ。

3 結果

		(1)生育		(2)外観		(3)耐病虫害		(4)花壇適正		(5)プランターごとの差	
		点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント		
日々草	① アイシーピンク	4		4		4	灰かび病目立つ	4	花色良		
	② ポルカドット	4	あまり大きくない	4		4	一部灰かび病発生	4			
	③ ローズハロ	10		10		7	一部灰かび病発生	7			
	④ リアルレッド	8		8		9	一部枯死株発生	8	プランター内で株のバラつきがあるが日々草の中ではよい。		
	⑤ オレンジ	9	十分育っている	10		9		9	日々草の中で一番適正ある。生育旺盛		
	⑥ ラベンダー	5	コンパクト 良くない	5	花色良	4	灰かびと思われる枯死発生	6	たぶん長雨に当たらなければ問題なかった。花が小さい。株の揃いは良い。		
ペンタス	⑦⑬ ローズ	10		8		4	ヨトウムシと思われる害虫害多し。	7	食害のため花数少ないが、生育は旺盛。	なし	どちらも生育はよいものの、害虫被害が多い。
	⑧⑭ ピンク	10	ボリュームがあり 花壇適性高い	10		7	若干虫害あり	10	生育旺盛。揃い良。	なし	生育は極めて良好。害虫にくわれた跡が目立つ。
	⑨⑮ バイオレット	10		10		7	灰かび病及び食害	10	花数多い。生育旺盛。株がまとまっている。	なし	生育はよいものの、病虫害被害が認められる。
	⑩ ホワイト	8		8		7	灰かび病及び食害	8	あまり害虫にくわれず良好。蒸れのため葉がとけている。株のバラつきあり。		
	⑪ レッドベルベット	10		10		9		9	株によって生育のバラつきは害虫か。全体としては良好。		
	⑫ ラベンダー	10	生育旺盛	10		10	あまり被害はない	10	大変バランスよい。花色、株の揃い良。花数多い。		

※ 評価は埼玉県農業技術研究センター及び埼玉県花と緑の振興センターにより、令和元年10月28日に実施した。

(1)～(4)の項目をそれぞれ10点満点で評価した。

ペンタス(ローズ、ピンク、バイオレット)はプランターによる差も比較した。

4 まとめ

- 日々草ではオレンジ、ペンタスはピンク、バイオレット、ラベンダーが最も夏季の花壇適性が認められた。
- 同一品種ではプランターごとの生育に大きな差はみられなかった。
- 生産者へのアンケートでは、この結果に基づき、夏用花壇苗の生産を平均7%程度増加させるとの回答があった。



日々草 オレンジ



ペンタス ラベンダー

実施機関 さいたまの花普及促進協議会

協力機関等 埼玉県農林部生産振興課
埼玉県農業技術研究センター
埼玉県花と緑の振興センター
鴻巣市花組合

本マニュアルは農林水産省「次世代国産花き産業確立推進事業」で実施した実証事業により作成しました。

発行者 さいたまの花普及促進協議会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9埼玉県農林会館
TEL：048-711-7166